

ふるさとの魅力を伝えるために

二年 N・M・

「私の町には店がないし、あたり一面緑ばかりで嫌だ。」

「将来は東京に出て大都市のビル街で働きたい。」

若い世代の私たちの中で、こう思ったことがある人は多いはずです。私も「この町には本屋すらなくて不便だ。」「都会に出たい。」と思ったことがあります。ですが、私の場合、まだ具体的には決めていません。ただ、将来東京で働きたいという憧れも少しあります。こんな思いをもっている人も多いのではないのでしょうか。

今の日本は、少子高齢化が急速に進み、地方都市の人口も減っている中、大都市の人口は増え続けているというところが深刻な社会問題となっています。私が住んでいる新潟県も東京へ上京する人が全国で一番多いといわれ、人口の減少が問題となってきました。その影響で、私が通学している中学校も将来的には廃校になるなどということもあるかもしれないかもしれません。

確かに新潟から新幹線で約二時間半で行ける上、新潟ではできない新しい発見がたくさんでき、とても充実した生活を送ることができるかもしれません。しかし、このような社

会問題が起きている中、大都市だけ人口が増え続け地方の人口が減ることはよくないと思います。この問題を改善するには、新潟の魅力年全国に発信してたくさんの人に地元の良いさを感じさせなければなりません。

新潟県は、自然豊かで地域の人との交流がとて盛んな所です。特に、私が住んでいる岩室地域では、「矢川灯籠流し」という伝統行事があります。伝統とはいえまだ今年で九回目ですが、この行事を始めたきっかけは私たちの先輩の代の中学生というのを知った時は驚きました。

私は去年この行事に初めて参加しました

が、地域全体で協力し合い、中学生が中心となって活動しているというところでふるさとのすばらしさを感じました。また、岩室は百年以上続いている岩室温泉で有名な所というところもあり観光客の方も多いです。たくさん見に来られていました。たくさん観光客や地域の方に見守られながらとてもきれいに流れている灯籠を眺めていると私は、「岩室に住んで良かったな。」

と思うと同時に、「中学生の力でこんなに地域に貢献できるんだ。」

と、誇らしく思いました。また、「私にも他に何かできることはないか。」

と、地域おこしに関心を持つようになりました。

今年も先日、この行事が行われ、私は前回よりも岩室中学校の生徒としての自覚を持ち、積極的に参加し、地域の人と声をかけ合いながら協力して行動することを心がけました。

この他にも和納十五夜まつりや冬妻^{ひよつま}ほたる祭りなど、岩室地域に住んで良かったと思える行事がたくさんあり、積極的に行動することがとても大切だと思いました。

私たちの新潟、そして岩室地域にはこのような魅力が数え切れないくらいたくさんあります。この情報を日本

全国に今より少しでも多く発信し、故郷に誇りを持つ人が増えればきつと新潟に住む人も増え、地域も活性化するはずです。

ただし、私は都会に行こうと思っている人やふるさとを出てすでに都会に住んでいる人にも理由があると思うので、無理に今都会に出るなと主張するつもりではありません。ただ、そんな人たちには時々私が紹介したようなふるさとの魅力を思い出し、そしていつかまた戻ってきてほしいと願っています。

私は将来、大好きなふるさと新潟・岩室地域の地域活性化に貢献していきたいと思っています。そうすればき

つとこれからの明るい未来・ふるさとを守り続けられるはずです。